



宇城市学校教育審議員訪問 ～ 教師も学び続ける ～

前途洋々

私たち学校の教員は、様々な機会に「研究授業」を行い、自己の授業力の向上に努めなければなりません。様々な機会がありますが、宇城市では、定期的に学校教育審議員の先生方がすべての学校を訪問され、先生方の授業を参観し、アドバイスを行っておられます。9月9日（月）は、本年度3回目の訪問で、今回は1年生及び4年生の授業を見ていただきました。1年生は国語「かぞえうた（数詞や漢数字の使い方を理解し、「数え歌」をつくる）」、4年生は算数「わり算の筆算を考えよう（除数に着目して、除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて計算することができる）」という内容でした。何でもそうですが学び続けることが必要であり、文部科学省の方針でも、「学び続ける教師」の姿が位置付けられています。私たち教師も、子供たちとともに学び続けていきます。（写真：4年算数を参観される、豊田学校教育審議員）



5年生は認知症サポーター養成講座を受講しました！

本校は、令和5年3月28日に、宇城市から、「宇城市高齢者等見守りネットワーク協力事業所」に登録されています。そこで、毎年、宇城市社会福祉協議会のご協力で、5年生に対し、「認知症サポーター養成講座」を実施しています。今年も、9月9日（月）の2・3時間目に実施しました。当日、社会福祉協議会から3名の講師の方々がおみえになりました。認知症に関する基本的な知識についてのお話はもちろんのこと、動画視聴や、ロールプレイング等を通して、適切な対応の仕方を考えていきました。もし、道に迷っている認知症の方に出会ったら・・・という設定では、「優しく声をかけて、一緒に帰りましょうと提案してみる」「家の人に知らせる」など、それぞれ、相手の立場に立った考えを出していました。また、講師の方々からは、「ぜひ、家の人にも今日の学びを伝えてください」というお話もありました。これで、5年生もキッズサポーターの一員となりました。その証として、右の写真にある「ロバ隊長」の人形をいただきました。「相手の立場に立って考える」ことは、生活のいろいろな場面で生かされると思います。今後の5年生に期待しています。（写真右：ロールプレイング中です）



今度は、5・6年生！ スクールカウンセラー尾崎先生による「こころ」の授業

これまで、2回にわたり、1～4年生に対し実施していただいた「こころ」の授業。今回は、高学年の5・6年生の番でした。心も体も成長し、これまでとは違う考え方や見方をすることも増え、ひょっとしたら、悩みも増える時期かもしれません。9月10日（火）の5時間目に、尾崎先生にいただいた授業では、「こころが楽になる方法」として、大切なことをたくさん教えていただきました。そのいくつかを再確認すると（すべてではありませんが）、

- ① 助けを求めることはとても大切な力。「弱い」ことではありません。
- ② 話しづらいことでも、一人で我慢しない。相談をしよう。
- ③ 相談できる人が周りにたくさんいると、しなやかで力強い生き方ができる。
- ④ 人間関係はこじれても修復できる。それでも難しいとき、相手との距離感を学ぶことも学校という集団のよさ。

まだありますが、子供たちには「一人じゃない」と感じてほしいですね。

